

2020年11月9日

「TSUBASAアライアンス」への群馬銀行の参加について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）ほか「TSUBASAアライアンス」参加行※1は、2020年11月9日（月）、「TSUBASAアライアンス」に、群馬銀行（頭取 深井 彰彦）が新たに参加することに合意しました。

当行は2019年3月にTSUBASAアライアンスへ参加しており、今般、群馬銀行の参加により、TSUBASAアライアンス参加行は11行となります。

TSUBASAアライアンスでは、フィンテックやシステム部門の連携のみならず、M&A分野での情報連携に加え、今年10月より共同出資会社「TSUBASAアライアンス株式会社」に開設したAML※2センターにて、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止に関連する業務の高度化に向けた取組みも開始するなど、幅広い分野で協業を進めております。

今後も、参加各行の知見を結集し、全国を網羅するネットワークやスケールメリットを活かすことで、各地域の未来へ向けてデジタル化をはじめとした最先端の金融サービスを提供してまいります。

《TSUBASAアライアンス概要》

沿 革	2015年10月	千葉銀行、第四銀行、中国銀行の3行で発足
	2016年3月	伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行が参加
	2016年7月	共同出資によりT&Iイノベーションセンター(株)を設立
	2018年4月	北越銀行が参加
		「TSUBASA FinTech共通基盤」の提供開始
	2019年3月	当行が参加
	2019年5月	滋賀銀行が参加
	2020年4月	琉球銀行が参加
	2020年7月	共同出資によりTSUBASAアライアンス(株)を設立
	2020年11月	群馬銀行が参加
連携目的		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進 ・参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進

※1 千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、滋賀銀行、琉球銀行の9行

※2 アンチ・マネー・ローンダリングの略

以上

本件に関するお問い合わせ先
 総合企画部 アライアンス推進室 關本
 048-641-6111（代） 内線 2162